

管内地域銀行の令和元年 9 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益の減少により、30 年 9 月期に比べ 3.7% の減益。
- 中間純利益は、与信関係費用の減少等により、30 年 9 月期に比べ黒字化。

(単位：億円)

	29 年 9 月期	30 年 9 月期	元年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	2,892	2,943	2,869	▲ 74
資金利益	2,583	2,658	2,449	▲ 209
役務取引等利益	261	282	287	5
その他業務利益			129	—
うち、債券等関係損益	46	5	102	97
経費	▲ 2,054	▲ 1,982	▲ 1,944	38
実質業務純益	837	961	925	▲ 36
コア業務純益			822	—
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)			782	—
与信関係費用	30	▲ 1,243	▲ 183	1,060
株式等関係損益	135	201	133	▲ 68
中間純利益	712	▲ 392	677	1,069

(参考)

	29 年 9 月期	30 年 9 月期	元年 9 月期
預金等 (末残)	42.4 兆円	42.4 兆円	42.8 兆円
貸出金 (末残)	32.2 兆円	33.0 兆円	33.5 兆円

預金等：預金＋譲渡性預金

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は 31 年 3 月期に比べ増加。不良債権比率も 0.07P 上昇。

	30 年 9 月期	31 年 3 月期	元年 9 月期
不良債権額	7,440 億円	8,293 億円	8,562 億円
不良債権比率	2.22%	2.44%	2.51%

3. 自己資本比率の状況

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、31 年 3 月期に比べ 0.03P 上昇。
- 国内基準行の自己資本比率については、31 年 3 月期に比べ 0.12P 上昇。

(国際統一基準行：2 行)

(国内基準行：10 行)

	31 年 3 月期	元年 9 月期
総自己資本比率	13.79%	13.82%
Tier1 比率	13.36%	13.39%
普通株式等 Tier1 比率	13.36%	13.39%

	31 年 3 月期	元年 9 月期
自己資本比率	8.75%	8.87%

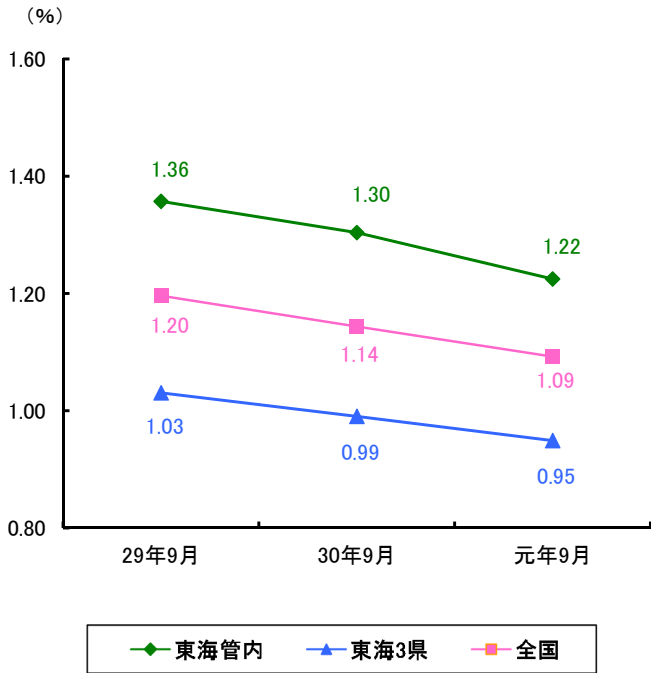
- (注 1) 計数は単体ベース。今後業績修正等により変更の可能性がある。
(注 2) 集計対象は管内 12 行 (地方銀行 7 行、第二地方銀行 5 行)
(注 3) 経費、与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。
(注 4) 前年同期比欄は、正の値が利益の押上げを、負の値が利益の押下げを表す。

【お問合せ先】

財務省 東海財務局 金融監督第一課
TEL：(052) 951-2493

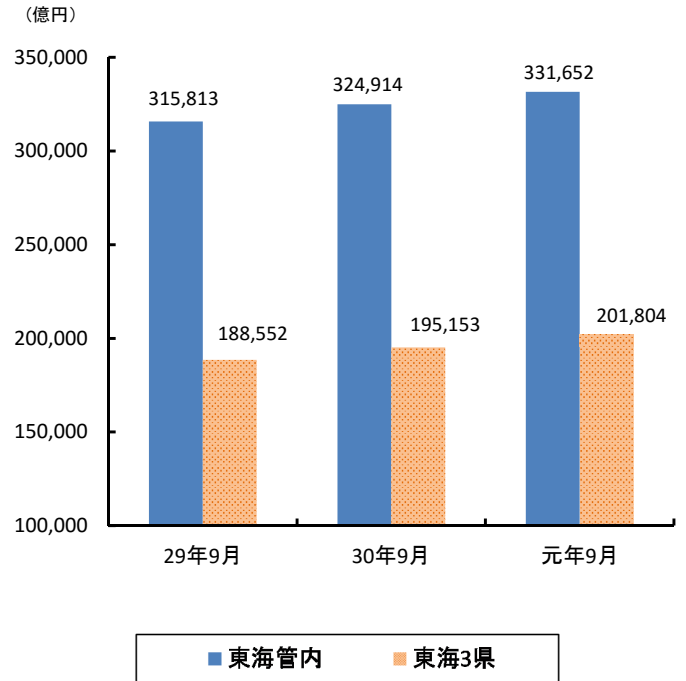
貸出金利回の状況

貸出金利回の推移



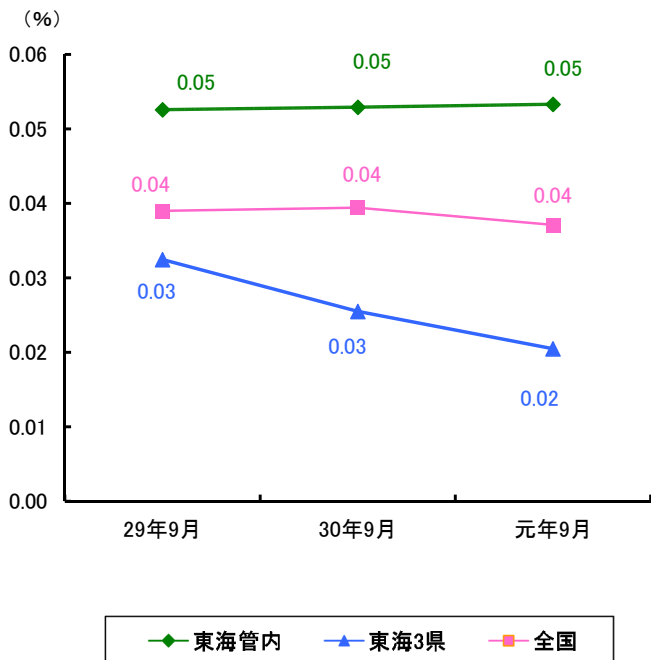
(注) 貸出金利回 (%) = (貸付金利息 + 手形割引料) ÷ 貸出金(平残) × 100

貸出金残高(平残)の推移



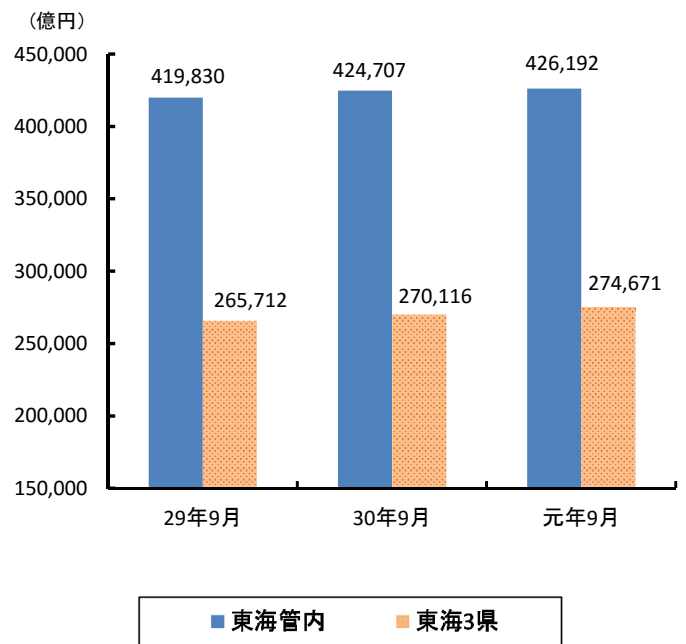
預金等利回の状況

預金等利回の推移



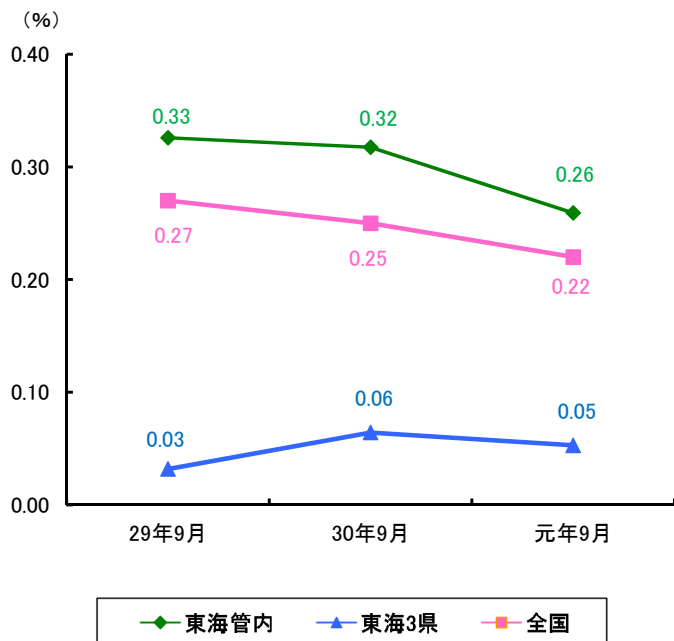
(注) 預金等 = 預金 + 譲渡性預金
 預金等利回 (%) = (預金利息 + 譲渡性預金利息) ÷ 預金等(平残) × 100

預金等残高(平残)の推移



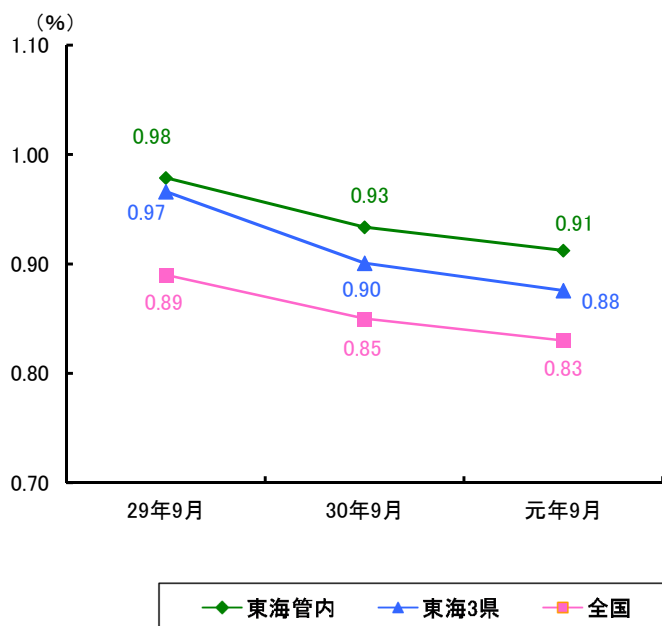
預貸金利鞘及び経費率の状況

預貸金利鞘の推移



(注) 預貸金利鞘(%) = 貸出金利回(%) - 預金債券等原価(%)
 預金債券等原価(%) = (預金等利息 + 経費) ÷ 預金等(平残) × 100

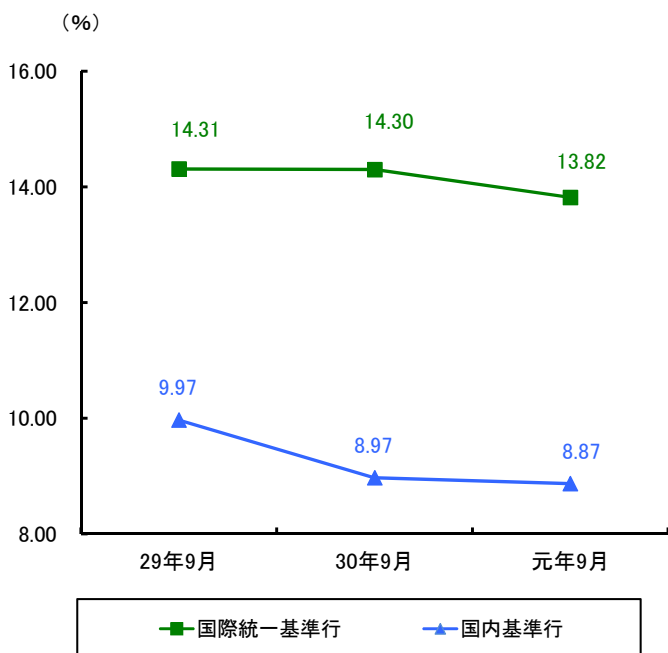
経費率の推移



(注) 経費率(%) = 経費 ÷ 預金等(平残) × 100

自己資本比率及び不良債権の状況

自己資本比率の推移



※ 各計数は、各行の公表資料及び当局調査に基づく計数(単体ベース)を集計したものであるが、暫定の集計値に基づくものであり、今後変動があり得る。
 ※ 「管内」の計数の対象金融機関は、12行(地方銀行7行、第二地方銀行5行)。なお、管内の国際統一基準行は、静岡銀行、名古屋銀行の2行。
 ※ 「全国」の計数の対象金融機関については、29年9月期は106行(地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行)、30年9月期、31年3月期は105行(地方銀行64行、第二地方銀行40行及び埼玉りそな銀行)、元年9月期は104行(地方銀行64行、第二地方銀行39行及び埼玉りそな銀行)。
 ※ 東海3県とは、愛知県、岐阜県、三重県に本店を置く地方銀行、第二地方銀行。
 ※ 各計数の比率は、加重平均。端数処理は、東海管内の計数集計においては、率による表示部分は原則として単位未満四捨五入(自己資本比率のみ単位未満切捨)、額による表示部分は、単位未満切捨てで処理。端数整理後の計数により計算している項目もある。

不良債権比率の推移

